

小さい者の一人が減びることは天にいますあなたがたの父のみ心ではない。

つ の ぶ え

TSUNOBUE



社会福祉法人
小羊学園

住所 〒433-8105
静岡県浜松市北区三方原町2709-12
電話 053-584-3337 FAX 053-585-8488
E-mail sasaeru@kohitsuji.or.jp
HP http://www.kohitsuji.or.jp/
発行人 稲松 義人
印刷所 アド・アール株式会社



2021年4月20日

第433号

今号のMENU

- 1 P...
理事長巻頭言
- 2 P...
2021年度事業計画
- 3~5P...
辞令交付式
新職員紹介
先輩メッセージ
- 5 P...
わたぐも紹介
- 6 P...
南エリア移転計画
リレートーク
支える会報告 他



浜松地区と静岡地区をWEBでつないだ辞令交付式 *特集3-4面

日本は、かねてから予想されていたとおり、少子高齢社会から人口減少時代になっている。高齢者が増え、労働人口が減っているのだから、働き手を得るのが難しくなってきたのは、社会福祉関係だけではないのだろう。人に代わって効率的に業務を進めるために、IT化が進み、情報伝達についての環境は確実に変わった。施設長たちを見ていると、行政その他から、毎日のように送信される電子メールを読み、それを理解することに追われている。そして速やかな返信が求められる。それを怠るとペナルティが課せられかねない。

そのことに頭がいっぱいで、支援の対象である方たちのことに思いを向ける暇がない。「制度についていくのが忙しく、支援の中身についてじっくり考えていては事業は成り立たないのか」と愚痴を言いたくなる。

そんな中、今年も新しく、それぞれにこころざしをもって、小羊学園に就職してくれた方たちを迎えた。どうか、新しい仲間が「福祉の現場」の現実には押しつぶされずに、支援される人たちに寄り添った支援ができるようにと、心から願って止まない。

そこに小羊学園のめざすべき基本理念があるのだから。

稲松 義人

2021年度

社会福祉法人小羊学園 事業計画

理事長 稲松義人



【基本指針】

2020年度は新型コロナウイルス感染症対策に追われました。利用者支援の現場では通常どおりのことができず、さまざまな感染予防のための日常業務が加わりました。事務管理の立場でも次々に出される行政からの指示、通達への対応に追われました。ワクチン接種がはじまり徐々に終息に向かっていくことを期待しつつ、2021年度も新型コロナウイルス感染症対策は、最重点課題となっていくと見据えています。

ここ数年小羊学園の将来を見据えた

組織のあり方について考えています。具体的には、創立者である故山浦俊治理事長のあと、1995年より稲松を理事長として運営されてきた社会福祉法人小羊学園を次の世代にどのように継承していくかということですが、むしろ社会環境の大きな変化の流れの中で、今後の社会福祉の進め方の「転換」が求められていることを受けとめていくことがその中心課題だと思っています。方向性は、福祉施設等の整備中心から地域共生社会の構築に向けた連携・協働へとされていますが、報酬体系については、まだまだ施設・事業が届け出上の体制によって評価されており、制度化される前の先駆的な取り組み、制度にあわせられない部分は評価されません。不適応行動が顕著で受け入れが難しい対象者への対応や、ネットワークづくりのための調整にかかる努力は、当法人らしい取り組みであります。経済的には見返りの少ない部分です。基本理念と実益の間で揺れつつ、以下のことを重点課題とします。

① 新型コロナウイルス

感染症対策の徹底

利用者支援の観点からも「安全」「健康」は、基本的なキーワードである。そのために、これまで続けてきた感染症対策を、引き続き気を緩めることなく取り組まなければならない。具体的には、まず職員はじめ関係者の協力も得つつ、それぞれが健康管理に注意し、手洗い（手指消毒）、マスク、三密回避に努めるようにしていきたい。

② 静岡地区、浜松地区

それぞれの将来構想の策定

静岡地区においては、現在つばさ静岡一拠点の事業を将来どうしていくのか、重症心身障害児者のニードへの対応を中心に具体的な次の事業展開の方向性を探っていきたい。

また、浜松地区については、エリアごとの事業の推進体制を見直し、浜松地区全体の将来構想をもちたい。そのために、法人本部の機能、各施設・事業所の運営体制、地区全体の組織管理体制の再編を具体化していきたい。

③ 地域共生社会の構築に向けて

地域共生社会の構築は、行政による机上の施策に沿ってできるものではない。

また、一法人の実践でできるものではない。共生社会の主体は住民（市民）であり、社会福祉法人をはじめとするさまざまな団体は、その専門分野において、より効率的な市民サービス提供が期待されている。市民に開かれた協議の場の構築、具体的な施策に関する提案、実践力の強化、またそれらの評価する基準の共有化などに取り組みたい。

④ マンパワーの確保、育成

社会福祉分野に限ったことではないと思うが、現在の最重要課題は働き手の確保である。それぞれの業務を遂行するための職員配置に苦労しているが、共通のこころざしをもつ人たちが得られるように、新たなマンパワーの確保と、採用されたスタッフの養成（教育）を通じて、法人全体、あるいは各地区で計画的に取り組み成果を上げていきたい。





【事業計画基本指針】
 コロナ禍で行った辞令交付式。これまでの式とは違い、浜松地区・静岡地区をリモートでつないでの式となりました。浜松地区6名・静岡地区7名合計13名が出席し、キリスト教礼拝で辞令の交付がされました。例年なら、全体で会食・施設内見学となりますが今年度は施設に分かれてオリエンテーション等になりました。

新たな仲間が加わり、小羊学園に春が来る

2021年度採用職員を紹介します

= 個人プロフィール =

- ①氏名 ②配属施設/職種/部署
- ③卒業校または前職
- ④資格 ⑤趣味特技

まつばら まな
 ①松原 茉奈

- ②三方原スクエア児童部生活支援員
- ③浜松学院大学短期大学部
- ④保育士 ⑤映画鑑賞



子どもたちと笑顔一杯で関われるよう頑張りますので、よろしくお願いします

おかだ しゅんき
 ①岡田 洵輝

- ②三方原スクエア成人部生活支援員
- ③浜松情報専門学校こども保育科
- ④保育士 ⑤走ること



利用者の方に寄り添い、一つ一つの支援を丁寧にやりたいと思います

てらだ さき
 ①寺田 早希

- ②三方原スクエア成人部生活支援員
- ③オリーブの樹・わかな
- ④ — ⑤お菓子作り



元気と笑顔を利用者さんに届けられるような支援員になりたいです。よろしくお願いします!

ゆかわ ぶんた
 ①湯川 文太

- ②マルカート生活支援員
- ③聖隷クリストファー大学
- ④保育士・幼稚園教諭
- ⑤料理



魚をさばけるようになりたいです
 よろしくお祈りします!

あらかし なつみ
 ①荒木 夏水

- ②支援センターわかぎ えりか生活支援員
- ③静岡文化芸術大学
- ④ — ⑤登山・温泉



元気に楽しみながら頑張ります
 よろしくお祈りします!

うるしばた ゆき
① **漆畑 有紀**
② つばさ静岡 つくしA
看護師
③ 静岡県立大学短期大学部
／急性期病棟
④ 看護師 ⑤ 硬式テニス



自分のできる最善の看護を一人一人の利用者の
生活で発揮できるよう努めます！

あまの じゅんじ
① **天野 順二**
② オリーブの樹
生活支援員
③ 支援センターわかぎ
④ -
⑤ 最近ロードバイク



これからオリーブの樹で働く天野です
みなさんと笑顔で過ごせるよう頑張ります

いまなが りか
① **今永 理佳**
② つばさ静岡 つくしA
生活支援員
③ 高齢者施設
④ 保育士 ⑤ 読書、観劇



一人一人の生活に寄り添い
お役に立てるよう努めます！

もちづき まりな
① **望月 麻里菜**
② つばさ静岡 いなほ
生活支援員
③ 静岡県立短期大学
／保険代理店
④ 社会福祉主事
⑤ 音楽、ギター、アニメ、即興ハモリ



誰かの助けになることをしたくて、福祉の
世界に戻ってきました。よろしくお願ひします

しまだ ちえ
① **嶋田 千恵**
② つばさ静岡 のどか
生活支援員
③ 飲食サービス業
④ -
⑤ 読書、レトロゲーム



福祉施設未経験ですが、早く慣れるように
頑張ります。よろしくお願ひします

たかだ るい
① **高田 瑠惟**
② つばさ静岡 あかね
生活支援員
③ 障害児施設
④ 保育士
⑤ 模型作り、障がい者フライングディスク指導員
前職（知的・発達障害児支援）の経験を活かし
重症心身の方たちと関わっていきたくです



しむら あおい
① **志村 碧郁**
② つばさ静岡 あかね
生活支援員
③ 静岡福祉大学 こども学科
④ 保育士、幼稚園教諭一種、
社会福祉主事
⑤ 料理、水泳、折り紙



自分の特技を活かして明るく楽しく
頑張っていけたらいいなと思っています

ごとう かな
① **後藤 花菜**
② つばさ静岡 かえで
生活支援員
③ 静岡英和学院大学
人間社会学部
④ 介護福祉士
⑤ サイクリング、ヨガ



常に向上心を持って業務に取り組みます
よろしくお願ひします！

三方原スクエア
生活支援員 鈴木雅翔

慣れるまでに時間がかかるとは思いますが、分からないことはしっかり聞いて頑張りたいです！

つばさ静岡
療育部長 鈴木良成

入職おめでとうございます。フレッシュな仲間を迎え、新しい風を吹き込んで、お一人お一人の活躍に期待しています。同期の皆さんが事業所を越えたつながりができるようにしていきたいです。

三方原スクエア
施設長 出水巖生

小羊学園の新しい仲間としての入職を心より歓迎いたします！
ご自分の個性と能力を十分に生かしながらチーム職員と協力しつつ、利用者の良きパートナーになれるよう頑張ってください。

先輩職員から
応援メッセージ！

辞令交付式翌日の4月2日には、浜松地区・静岡地区に分かれて新人研修を行いました。浜松地区のカリキュラムでは創立者である故山浦俊治先生の映像から創立の心を学び、引き続き、障がい者支援の基本・障がい者福祉制度・ビジネスマナー・虐待防止・権利擁護などのカリキュラムを受講しました。基本を学び、経験値を増してスキルアップできるように願っています。

新人研修開催

つばさ静岡
生活支援員 市川亜沙佳

利用者との関わりの中で、笑顔や知らなかった一面が見られると嬉しくなります。一緒に楽しく働きましょう！

支援センターわかぎ
生活支援員 初瀬優月

新しい環境の中で不安はたくさんあると思います。先輩職員に聞いて一緒に頑張っていきたいと思います♪

私たちのこともっと伝えたい！今回は わたくも の魅力を伝えます

施設紹介
つばさ静岡 生活介護事業所わたくも
重症心身障害の方を対象とする定員20名の事業所です。4つのグループに分かれて、バランスボールやエアトランポリン、アロママッサージ等の活動に取り組んでいます。4月5日よりグループ編成を変更しました。新たな仲間と過ごして、新たな発見をしていきたいと思えます。



施設外観



左写真
4月2日このメンバーで過ごすのが最後になる為、桜のミルクレープと桜湯を作り、「ありがとうの会」を開きました。レープ生地は職員が持参し、ホイップクリーム等のトッピングを利用者と職員が一緒に行いました。今までありがとうと労いを込め、桜湯で乾杯しました。

KOITSUJI STAFF



リレートーク

Vol.13

鈴木美智子さん

2004年入職
グループホームひまわり 主任



Q小羊学園を志した動機は？
高校の実習で障がい者の施設を訪れ、知的障がいの方と触れ、もっと知りたいと思ったのがきっかけです。

Qこの仕事の嬉しいことは？
グループホームに勤めるなかで、生活を通して利用者の笑顔や穏やかな会話をしている些細な日常場面に幸せを感じています。

Qちょっとプライベートを教えてください！
犬が大好きです。愛犬は春(はる)ちゃん。一人旅も好きで山登りなどにも出かけます。

Q誰にリレーしましょうか？ また一言メッセージを！
オリーブの樹の榎亜珠加さんにバトンをつなぎます。仕事のことだけでなく、お互いの趣味の話でも盛り上がりましょう！

小羊学園

管理者人事交代の報告

2021年4月1日付で左記の管理者の変更がありましたのでご報告いたします。

○稲松 義人

理事長兼小羊デイケアホーム施設長

↓ 理事長専任

○渥美 雅世

支援センターわかぎ 支援課長

↓ 小羊デイケアホーム 施設長

○濱田 裕子

三方原スクエア 支援課長

↓ 支援センターわかぎ 支援課長

2022年春、マルカート・ドルチェ移転

2005年、浜松市所有で閉館した旧サンビーチ浜松を再利用してオープンしたアンサンブル江之島(正式名称:浜松福祉協働センター、南区江之島町)が老朽化に伴う閉館が決定していました。アンサンブル江之島でマルカート・ドルチェの事業を運営していた小羊学園もこれに伴う移転計画を進めていますが、この度正式に移転先及び改築工事計画が承認されましたので、ご報告いたします。

- 移転先
浜松市南区新橋町 1174-1 (他2筆)
- 建設予定時期
2021年4月12日~2022年2月28日
- 竣工
2022年3月 運用開始:2022年4月
- 施工業者:なごみ住宅株式会社
- 設計監理:株式会社中川猛一級建築士事務所



上:外観パース① 南西側

下:外観パース② 北西側



小羊学園を支える会

2020年度 寄付金報告

2月~3月分 802,560円 (32件)
累計 8,526,606円 (375件)
多くのお支えに感謝申し上げます

小羊学園への寄付金振込み先

郵便振替口座 00800-8-107785
口座名義 社会福祉法人小羊学園
ゆうちょ銀行 〇八九店 当座預金0107785
口座名義 社会福祉法人小羊学園

ご希望があれば、郵便振替用紙をお送りいたします。下記へご連絡ください。

小羊学園を支える会事務局 (鈴木)
小羊学園法人本部 ☎ 053-584-3337



新年度を迎え、心新たにスタートをされていることと思います。小羊学園でも新たな利用者や職員を迎えて新年度をスタートしました。

思いの外長く新型コロナウイルスが猛威を振るっています。既にワクチン接種が始まっている地域もあり、今後の効果に期待がされています。皆さんもそうだと思いますが、コロナ禍での生活がどこか当たり前になってきているような気がします。それが良いことなのか、悪いことなのか分かりませんが、また以前のような生活に早く戻ってくださることを願わずにはいられません。まだ先がみえませんが、がんばりましょう。

(K)